

第3 主要事業の概要

1 一般会計

(1) 市民生活

〈地域コミュニティ、交流、市民協働、防災、消防・救急〉

マニフェスト

地域協議会創設事業

- 1 事業年度 平成24年度～
- 2 予算額 1,378千円
- 3 目的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区（自治会）やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。
- 4 効果
 - 意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～

区（自治会）をはじめとする各種地域団体や地域で活動している地域住民が、話し合いや交流を通じて、自らの地域課題を抽出し、解決に向けて自ら取組むことにより地域への誇りや愛着心を醸成します。
 - 相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～

区（自治会）、老人会、子ども会、PTAなどの各種地域団体や、民生児童委員、保健連絡員などの地域を支える団体・個人が、相互に補完しあい、力を合わせることにより、相乗効果を生み出します。
 - 課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

画一的、均一的なサービスが求められる行政では取組みが困難な事業や、既存組織では対応が難しい地域課題に対して、区（自治会）よりも一回り大きな単位で、効率的、効果的に地域活動を展開していきます。

5 事業概要 区長をはじめ、ボランティア、福祉関係者などの多様な人材に参加を呼びかけ講演会などを開催し、地域協議会設立に向けた地域の機運を高めていきます。

また、平成24年度に発足した地域協議会市民会議にて先進地視察を実施するなど、調査・研究を継続していきます。

「地域協議会のイメージ」



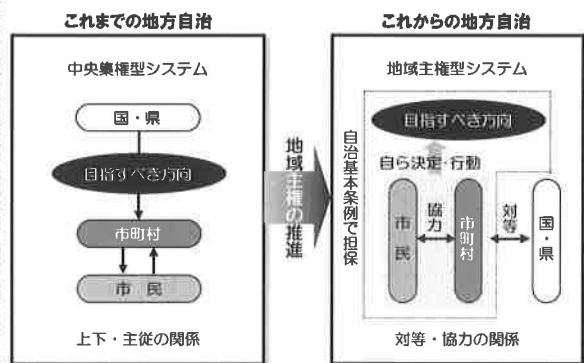
マニフェスト

自治基本条例制定事業

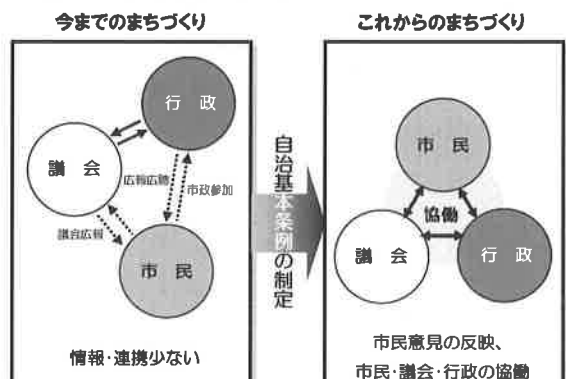
市長公室 協働推進課
Tel 76-1149

- 1 事業年度 平成24年度～26年度
- 2 予算額 3,340千円
- 3 目的 住民自治と協働を基本とする地域自治を目指し、地域の自己決定・自己責任で市政を進めるために、自治の理念や市民・議会・行政等の役割、市民参画や市民協働などについて、基本となるルールを定める必要があります。このため、市民主体による自治の一層の推進、住民自治と協働を基本とした本市独自の自治基本条例を制定します。
- 4 効果

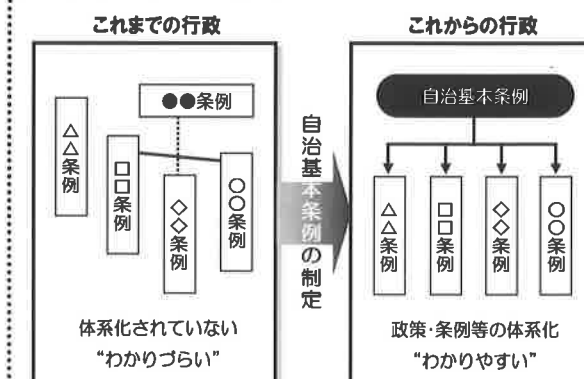
本市に即した分権型システムの構築へ



協働によるまちづくりへ



わかりやすい市政へ



5 事業概要

平成 25 年度	前期	平成24年7月に発足した「自治基本条例のあり方研究会議」で、“これからの小牧のまちづくりの方向性”や“住民自治や協働のあり方”など、条例に盛り込む骨格について、市民や行政、市議会の意見を聴きながら研究を進めていきます。研究成果については「まちづくり提言書」としてとりまとめ、市長へ提出します。
	中期	「まちづくり提言書」の提出後、『こまき地域づくりフォーラム 2013』を企画開催し、フォーラム参加者と提言内容を共有するとともに、識者による講演を通じて、市民の住民自治や協働に対する意識の醸成を図ります。
	後期	後期からは、検討主体を「自治基本条例起草会議」と「条例検討職員プロジェクトチーム」に移し、「まちづくり提言書」の提言内容の条文化への検討、条例草案の作成を進めます。

マニフェスト・新規

協働提案事業化制度による事業

市長公室 協働推進課
Tel. 76-1149

1 事業年度 平成25年度～

2 予算額 3,931千円

3 目的 市が現在実施している事業、または実施できると良い事業について、市民や市民活動団体の知恵や力を活用し、より効果的な公共サービスを提供するため、市民（市民活動団体）と行政それぞれが地域課題等の提案を行い、解決に向けて協働で事業を実施し、本市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的とします。

4 効果

【市民】

みなさんのアイデアや力を市政に活かすことができるようになり
“市民が元気な小牧”へ

【市民活動団体】

団体のところざしをカタチに変えることができるようになり
“絆で結ばれた小牧”へ

【全体】

市政を支えるさまざまな立場の方々がまちづくりに参加することにより
“みんなでつくる小牧”へ

【行政】

みなさんのニーズを市政に反映することができるようになり
“市民により近い行政”へ

5 事業概要

【平成 25 年度実施の協働事業一覧】

協働する団体	事業の名称	事業の内容	予算額
(特非)こまき e-コミュニティーネットワーク 担当課：秘書広報課	市民レポーター制度事業	市民レポーターの養成及び「広報こまき」掲載記事の作成等を行います。	351 千円
(特非)こまき e-コミュニティーネットワーク 担当課：秘書広報課	フェイスブックによる市政情報等の発信事業	フェイスブックを使った市政情報等の発信を行う。	515 千円
(特非)こまき市民活動ネットワーク 担当課：人事課	職員研修事業	新規採用職員を対象に、協働意識啓発のための研修を行います。	125 千円
(特非)こまき市民活動ネットワーク 担当課：協働推進課	市民情報センター活用検討事業	名鉄小牧駅の市民情報センターの有効活用策について、企画検討を行います。	271 千円
小牧防災リーダー会 担当課：危機管理課	防災・減災教育支援事業	自主防災会と小中学生を対象とした防災・減災教育を行います。	599 千円
小牧にぎわい隊 担当課：小牧山城 450 年プロジェクト推進室	街バル開催事業 〈別掲 84 頁〉	観光まちづくりに不可欠である飲食店の魅力を引き出し、織田信長公小牧山城築城 450 年を盛り上げます。	700 千円
(公社)愛知建築士会小牧支部 担当課：建築課	耐震改修相談事業	耐震化を促すため、相談コーナーの設置や地域住民への啓発活動等を行います。	294 千円
SISTERHOOD MAHALO (シスターフードマハロ) 担当課：まなび創造館	女性相談事業	電話による女性相談窓口を開設し、DV 被害者への支援を行います。	1,076 千円
合 計			3,931 千円

マニフェスト

広聴事業

- 1 予算額 1,519千円
- 2 目的 市民参加による開かれた市政の実現に向けて、市民と行政が共通認識のもと協働してまちづくりを推進するため、市民が市政について話し合い、意見などを出せる環境を整えます。
- 3 効果 広く市民の意見を聴くことができ、市民の声を活かした市政運営が促進できます。
- 4 事業概要

●タウンミーティング 717千円

市長と市民が直接対話を行うタウンミーティングを開催します。

また、若年層向けに、中高生を対象としたタウンミーティングを開催します。



●市民討議会 802千円

無作為抽出による参加案内に応え集まった市民が、市政課題や地域の問題について少人数のグループで討議し意見をまとめます。

多様な市民の潜在的な声を聴き、市政に対する市民参画意識の高揚を図ります。



集会施設整備事業

- 1 予算額 160,000千円
- 2 目的 地域住民が、身近な場所で集うことができる各行政区の集会施設の整備を進めます。
- 3 効果 地域コミュニティ活動の拠点を整備することにより、集会施設を利用した活動が積極的に行われるようになり、各種活動を通じて住民同士の連帯感が高まります。

4 事業概要

空港周辺集会施設整備

県営名古屋空港周辺の騒音対策区域内に位置する集会施設の空調機取替とバリアフリー工事を行い、環境にやさしい太陽光発電システムの設置を行います。また、下水道供用開始に伴い接続工事も合わせて行います。(堀の内会館)



小牧原街道区・タウン本庄区集会施設整備

小牧原街道区において、地域コミュニティの活動拠点として、バリアフリー化した使いやすい集会施設の建設を行います。

・小牧原街道区集会施設：延床面積 約330㎡

また、タウン本庄区において、新たにコミュニティ活動の拠点となる集会施設を整備するための準備を進めます。



拡充

姉妹都市・友好都市交流事業

- 1 予算額 24,100千円
- 2 事業概要 ワイアンドット市(アメリカ合衆国)との姉妹都市提携50周年を記念した市民団派遣、友好都市の安養市(大韓民国)市制40周年記念式典への招聘派遣のほか、両市への小牧市児童・生徒の派遣事業を行います。また、先方からの訪問団の受入事業を行います。

5月	ワイアンドット市(中学生)派遣
8月	安養市(小学生)相互交流(派遣・受入)
	姉妹都市提携50周年ワイアンドット市派遣
9月	安養市市制40周年記念式典招聘派遣
未定	姉妹都市提携50周年ワイアンドット市訪問団受入



安養市児童交流(派遣)の様子



ワイアンドット市訪問団受入の様子

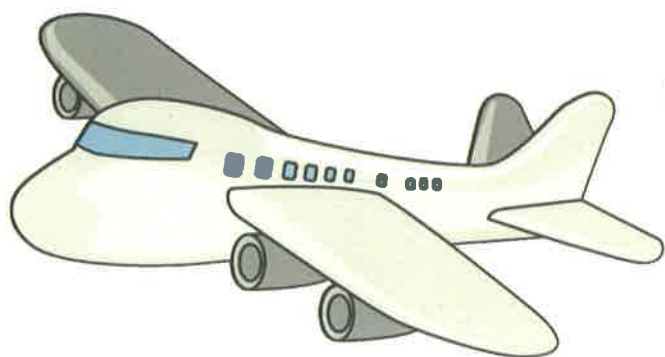
H25はワイアンドットとの姉妹都市提携50周年なんだ!



新規

旅券交付事業

- 1 事業年度 平成25年度～
- 2 予算額 6,925千円
- 3 目的 市民課の窓口で旅券交付申請及び交付の手続きを受付けることにより、市民サービスの向上を図ります。
- 4 効果 県旅券センターに出向かなくても、市役所で旅券の交付申請から旅券の受け取りまでができるようになります。
- 5 事業概要 平成25年4月1日から小牧市在住者を対象とした旅券交付申請の手続きが、県の窓口から市民課に移行します。パスポートの新規申請、訂正申請、査証（ビザ）欄の増補申請、有効中のパスポートの紛焼失の届出、パスポートの受け取りができます。受付は、平日の午前9時から午後5時に行います。



消防指令センター整備事業

- 1 事業年度 平成24年度～平成27年度
- 2 予算額 51,680千円
- 3 目的 複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、消防事務の高度化による消防力の強化を図るため、消防通信指令に関する事務を共同して管理、運用します。
- 4 効果 6消防本部（小牧市、犬山市、江南市、岩倉市、丹羽広域事務組合及び西春日井広域事務組合）が共同で消防通信指令業務を運用することにより、設置費用や維持管理費用の低減化が見込まれます。また、災害発生状況や車両出動状況を一元管理することにより、消防相互応援協定による応援出動を迅速に行うことが可能となります。

5 事業概要

事業	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
デジタル消防救急無線整備事業	基本設計	実施設計	整備事業		運用開始
高機能消防指令設備整備事業		実施設計	整備事業		
消防指令センター施設整備事業		基本設計 実施設計	建設事業		

